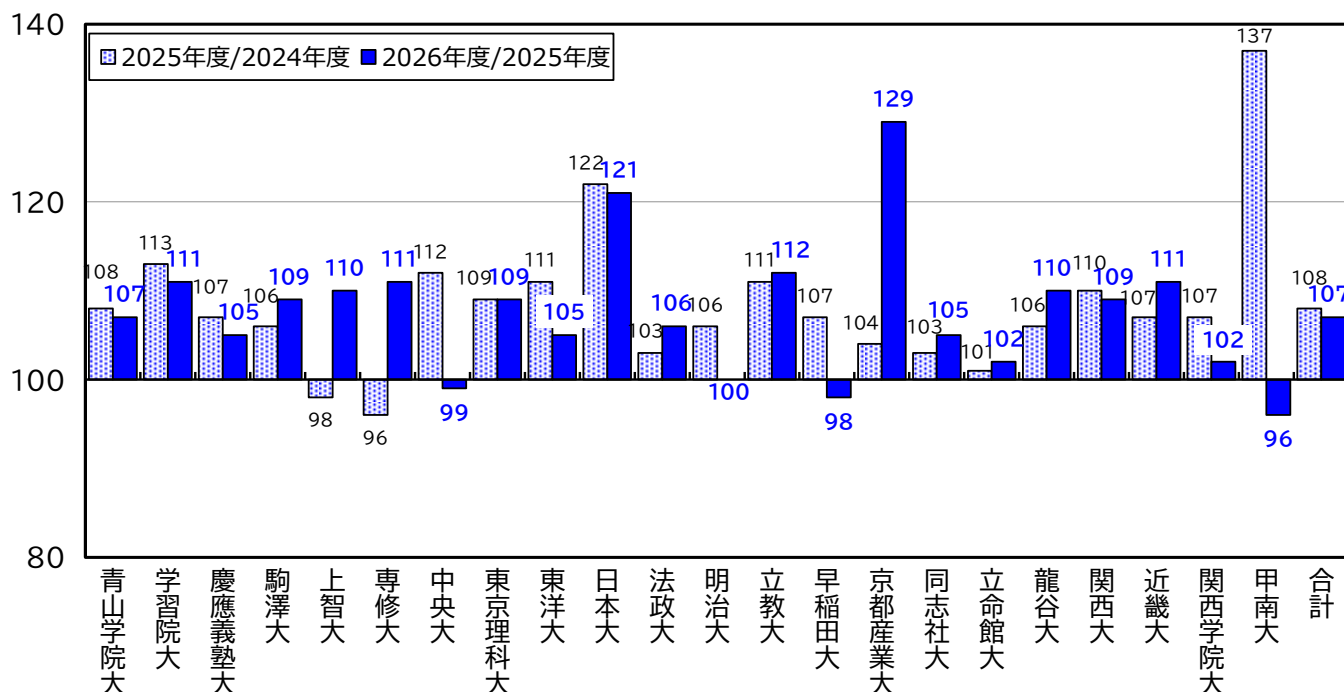


※本文中の()内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。

◎主要私立大学 志願状況概況

大学	2026年度			2025年度			志願者指数 (2026年度/2025年度)		
	一般方式	共通テスト 利用方式	合計	一般方式	共通テスト 利用方式	合計	一般方式	共通テスト 利用方式	合計
青山学院大	30,640	23,804	54,444	27,616	23,056	50,672	111	103	107
学習院大	24,048	4,510	28,558	20,568	5,207	25,775	117	87	111
慶應義塾大	42,033		42,033	40,132		40,132	105		105
駒澤大	22,469	13,096	35,565	20,543	12,153	32,696	109	108	109
上智大	5,789	26,157	31,946	5,262	23,834	29,096	110	110	110
専修大	35,790	18,438	54,228	31,993	17,029	49,022	112	108	111
中央大	48,642	24,721	73,363	48,475	25,328	73,803	100	98	99
東京理科大	36,587	25,392	61,979	37,385	19,654	57,039	98	129	109
東洋大	73,363	45,870	119,233	70,097	43,665	113,762	105	105	105
日本大	86,219	25,683	111,902	68,492	23,740	92,232	126	108	121
法政大	76,771	34,469	111,240	70,832	34,275	105,107	108	101	106
明治大	79,026	35,986	115,012	83,403	31,920	115,323	95	113	100
立教大	43,052	27,142	70,194	38,242	24,587	62,829	113	110	112
早稲田大	64,722	29,716	94,438	63,184	32,754	95,938	102	91	98
京都産業大	27,924	13,022	40,946	21,754	10,001	31,755	128	130	129
同志社大	44,828	10,716	55,544	42,669	10,060	52,729	105	107	105
立命館大	63,985	34,650	98,635	60,399	36,518	96,917	106	95	102
龍谷大	46,182	23,425	69,607	41,430	22,022	63,452	111	106	110
関西大	59,270	27,766	87,036	54,667	25,168	79,835	108	110	109
近畿大	120,563	54,205	174,768	109,530	47,996	157,526	110	113	111
関西学院大	36,730	20,399	57,129	35,548	20,688	56,236	103	99	102
甲南大	17,738	6,659	24,397	18,680	6,701	25,381	95	99	96
合計	1,086,371	525,826	1,612,197	1,010,901	496,356	1,507,257	107	106	107

※3/30現在



上の表とグラフは、2026年度入試における主要私立大学の3月30日時点での各大学発表による志願者数の確定値を集計したものです。なお、2025年度の志願者数についても、前年度最終集計から一部の大学が修正を行いましたので、それを反映させた数値です。

□志願者数が増加したのは18大学で、減少は4大学のみ

前記の大学で、前年度より増加したのは18大学で減少は4大学のみでした。国公立大併願者を含めて併願校数を増やしたことなどから全体的に増加傾向が強くなりました。

大学別では、京都産業大(129)、日本大(121)はいずれも大幅増加、立教大(112)、学習院女子大を統合した学習院大(111)、専修大(111)、近畿大(111)、上智大(110)、龍谷大(110)、駒澤大(109)、東京理科大(109)、関西大(109)はいずれも増加、青山学院大(107)、法政大(106)、慶應義塾大(105)、東洋大(105)、同志社大(105)はいずれもやや増加、立命館大(102)、関西学院大(102)は微増でした。

一方で、減少は4大学のみで、甲南大(96)はやや減少、早稲田大(98)、中央大(99)は微減、明治大(100)は311人の減少でした。

増加した大学では、京都産業大(129)は、アントレプレナーシップ学環の新設や文化学部の改組、また、法(162)と文化(198)の同一試験日内での学部内学科併願受験料割引制度の導入などもあり、志願者数は5年ぶりに4万人を上回りました。日本大(121)は、近年の大学を取り巻く厳しい環境から志願者数が減りましたが、前年度は<A方式>出願者の同一学部同一学科<N方式第1期>の受験料を免除し志願者を増やしました。今年度は<N方式第2期>も受験料を免除したことも影響し、志願者数は6年ぶりに11万人を上回りました。

一方で、甲南大(96)はやや減少で、前年度まで3年連続増加しましたが、前年度早めた日程と同一日程で実施した<一般・前期>(109)は増加しましたが、<一般・中期>(58)の大幅減少が影響しました。微減の早稲田(98)は<一般>(102)は微増でしたが、<共テ>(91)の減少が影響しました。

志願者数が10万人を上回ったのは、近畿大、東洋大、明治大、日本大、法政大の5大学で、前年度より1大学増加しました。近畿大(111)は増加で、志願者数全国第1位に返り咲きました。

方式別では、一般方式(107)、共通テスト利用方式(106)といずれもやや増加となりました。共通テスト利用方式では、京都産業大<共テ>(130)や東京理科大<共テ>(129)の大幅増加が目立ち、共通テスト利用方式を実施していない慶應義塾大を除く21大学中15大学で増加しました。共通テスト利用方式に新方式を導入した大学があったことに加えて、国公立大との併願者も多く、この層が受験料の減免や試験対策の負担が軽い共通テスト利用方式を積極的に利用したことも影響しました。